「エコ博士」から、普通の電球と省エネ電球の違いについて説明を受ける児童たち（京都市上京区・乾隆小）

環境家計簿つけよう

上京の乾隆小、夏休みに実施

エコライフ推進事業

児童ら事前学習会

クイズに挑戦 温暖化防止学ぶ

児童に夏休み中に環境家計簿をつけてもらう「こどもエコライフチャレンジ推進事業」の事前学習会が五日、京都市上京区の乾隆小で行われた。児童たちは、市民団体のメンバーから、クイズなどを通して地球温暖化防止や省エネに関する説明を受け、意欲を高めた。

同事業は、子どもへの環境教育を進め、家庭で地球温暖化対策を進めてもらう狙い。過去二年間、京都青年会議所などが実施してきたのを踏まえ、本年度から市内の十一小学校で五年生を対象に展開する。

初回となった同小の五年生三十七人は、NPO法人（特定非営利活動法人）気候ネットワークのスタッフから、桜の開花時期の早まりなど地球温暖化の及ぼす影響について学んだ。「二酸化炭素が多く出る乗り物は？」などの四択クイズにも挑戦し、関心を深めた。

最後に、同ネットワークのスタッフ、ふんする「エコ博士」から、エアコンの設定温度や省エネ電球の購入など、家庭レベルでの対策を聞いた。

五年の中川明莉さんは「地球温暖化の問題が大変だとあらためて分かった。家でできることは、やりたい」と話した。

子どもたちは、夏休み中の環境家計簿を基に「エコライフ診断書」をもらい、十月に事後学習に取り組む。

（田貞仁記）